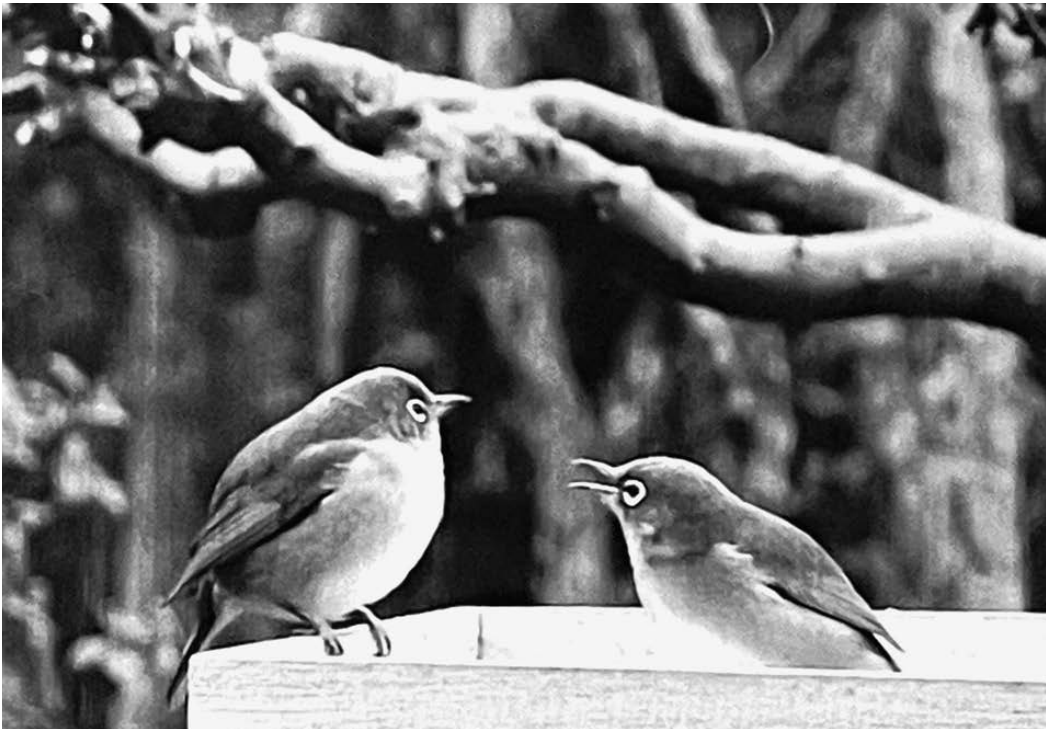


洞林寺護持会会報

錦 糶

令和六年春彼岸号(通算166号)



メジロはあまり人間を警戒せず、庭先に果実やエサがあれば寄ってきます。自宅の庭のエサ台にメジロがつがいで寄ってきました。

(写真提供 佐藤泰憲氏)

謹んで能登半島地震で

お亡くなりになられた方々の

御冥福をお祈り申し上げます

そして、被災された方々に

心より御見舞い申し上げます

洞林寺住職 吉田俊英

能登半島地震に思う事

洞林寺住職

1、群発地震と言う前触れは有ったが

既に皆様ご承知のことですが、一月一日十六時十分に能登半島から北陸各地にかけてマグニチュード7・6の強い地震が発生し、最大震度7の揺れを記録しました。氣象庁の発表によると、発生場所は「石川県能登地方（輪島の東北東三〇km付近）深さ十六km」とのことです。氣象庁は今回の大規模な地震を「令和六年能登半島地震」と

命名しています。

石川県能登地方では、令和二年（二〇二〇年）十二月から地震活動が継続しており能登群発地震と命名され警戒していたとのこと。氣象庁によると、二〇二〇年十二月以降、二〇二四年一月二日十三時の時点で震度1以上の揺れを六七五回観測しているそうです。能登半島にお住いの方々も全く警戒していなかった訳ではないでしょうが、こんなに凄い地震が来るとは思っていなかったでしょう。

思い返しますと、二〇一一年の東日本大震災の時にも、三月十一日の前日にも前々日にも結構強い揺れの地震がありました。後で振り返れば、「大震災の前触れだった」と気が付きますが、たとえ「大地震の前触れかも。」と思つたとしても、いつ発生するかわからない大地震のために避難生活に入ることは現実には有り得ません。万全の対策なんて無理だ、と思います。東日本大震災並みの地震なんて二度と来て欲しくないが、来ないという保証は無い。東日本大震災で無事であったとしても、もし直下型の強い地震が来たら、安全とは言えない。能登半島の被災状況は決して他人事ではない。其の事を肝に銘じたい。

2、復興への道のりは険しい

能登半島を中心に自衛隊・警察・消防・医療関係者・全国の自治体から派遣職員・ボランティア団体等、多くの方々から被災者支援と復旧復興活動に当たっている。しかし、其の道のりはかなり険しい。三月一日付の毎日新聞に、能登半島に支援のために

氣象庁発表 能登半島地震

派遣された神戸市の課長さんへの取材記事が載っていました。

「今回は発生から五日たった一月六日から十二日まで被災地入りした。情報連絡員として石川県珠洲市の災害対策本部で情報集約に当たり、避難所も回った。

半島に足を運ぶと、至る所で民家が倒壊し、津波や海底の隆起があった港湾は使えなくなつた。道路は積雪の影響で寸断され、各地に点在する避難所や集落に向かうのは困難だった。一週間がたつてもライフラインが復旧する兆しが見えず、阪神大震災時より悪条件が重なっていた。これだけの被害は想定外。現地で初めて分かることが多



七尾市で炊出しをする
シャンテイ国際ボランティア会

く打つ手がなかった。」と問題点を指摘しておられる。問題点や課題はまだまだあるが、到底ここに書ききれぬものではない。

災害から二カ月が経つが、電気水道が復旧していない地域はかなりあります。仮設住宅もいくらか完成し入居が始まるようですが、数が足りないそうです。仮設住宅が完成したとしても、飽くまでも復旧への一歩に過ぎない。生活・産業・医療・教育等、課題は有りすぎる。政府も自治体も鋭意取り組んではいるのだろうが、被災者の方々の不安と不満は大きいでしょう。

3、被災者を力づけるには

今横浜市にある大本山總持寺は明治までは能登半島の輪島市門前町にありました。現在も本山別院である總持寺祖院として護持されています。總持寺祖院の近所にある曹洞宗興禅寺という寺があり、その御住職市堀玉宗師が門前に掲示したポスターが幾つかの新聞に紹介されたそうです。

地震直後でも安否を気遣ってくれる方、励ましてくれる方、物資を届けてくれる方が居たそうです。そういう励ましが有ったからこそ市堀住職は「負けてたまるか」の標語を書き、周囲の方々を励ましています。

「負けてたまるか!!」。昨年の第8回赤羽萬次郎賞で優秀賞を受けた輪島市門前町の法輪山興禅寺の住職市堀玉宗さん(68)が、通り面した寺の掲示板の張り出しで被災者を懸命に励ましている。2007年の地震で寺が全壊し、再建。再びの大地震に、「みんなに響くかは分からないが、自分への呼びかけでもある」と思いを語る。

境内の灯籠や石像が軒並み倒れ、市堀さんは地震発生以降、片付けに追われていた。再建した本堂は難を逃れたが、「揺れは前の比じゃなかった」と振り返る。

通りからよく見える掲示板は、さまざまの言葉とともに地域を見守り続けてきた。今回の地震後には「人生いろいろある。でも賭行無常の中であきらめないでほしい」との思いを込め、墨でしたためた。

地震後の混乱の中でも、近隣住民が裏子を
持って訪れてくるほど
愛されている。「あり
がとう」と顔をほころ
ぼせる市堀さん。「進
んでいた人口減が、地
震でさらに加速する可
もしれない。それでも
寺を続ける。最後の一人
になるまで」。地域
住民のよりどころであ
り続ける覚悟だ。

「負けてたまるか!!」の
張り出しと法輪山興禅寺
の住職市堀玉宗さん
11月5日、輪島市

負けてたまるか 石川県の地方紙『北國新聞』令和6年1月9日朝刊

東日本大震災の時、仙台に住む、宮城に住む、東北に住む多くの人々が力を失い落

胆し打ちひしがれていました。そういう我々を力づけてくれたのは、全国各地からの支援であり、世界各地からの支援である。其の事を忘れてはならない。そして、其の時の感謝の気持ちを、能登半島の復旧復興支援に向けましょう。

行動可能な方は現地で支援し、現地に行けない方は義援金に託して気持ちを届けましょう。道は険しい。でも、みんなの支援で被災者の背中を押してあげましょう。

防災・減災を改めて考える

護持会副会長 佐藤 泰 憲

1、災害に備える↓命を守る

何としても生き残るといふ、強い意思をもつこと。

自分が生きるため（自助）

皆が生き延びるため（共助）

公助は三日間位は当てにならないので、何とか生きるため

①今すぐ取り組むこと

- ・家具の固定
- ・逃げ口の確保（茶の間、玄関から外へ。自宅から避難所や安全な場所へ）

②用意すべきもの

- ・水の、食料の備蓄
理想は一週間分、最低でも1〜2日分（循環備蓄）
- ・常備薬とお薬手帳
- ・卓上コンロ（ボンベも）、懐中電灯、携帯ラジオ、スマホと充電器（各予備電池）
- ・ホッカイロ、おむつ、ティッシュペーパー、ウェットティッシュ
- ・特に冬場は車に毛布と防寒服
- ・オール電化の場合でも、昔の反射ストーブ（灯油の予備）
- ・ホイッスル、ヘッドランプ

2、自分が心掛けること

- ・地域との交流
 - ・防災訓練への参加
 - ・地域の高齢者施設の把握
（福祉避難所の開設場所になる）
- これらの事は、地域の人々を知り、知って貰う事になり、イザという時には、助け合う力になる。
- ・自分自身の体力の維持と向上↓災害発生時に逃げる、動ける為に



水・食料・燃料の備蓄、そして防災グッズも必要

私は山登り、山歩きをした時に、山小屋泊まりを幾度も経験しています。水、電気、食料の無い所で生活する訳なので、それなりの準備、経験が必要でした。サバイバルとは違いますが、防災の心構えには貴重な原体験のひとつになっています。

ある講座の中で、東北大学国際防災科学研究所所長の今村教授が「被害を出来るだけ小さくする。眼に見える被害（物、身体）はいずれ直るが、眼に見えない被害（心、お金）は後からずっしりと響いてくる。」

又、ある災害ボランティアの方は「人間には、助け合いのDNA(遺伝子)がある。」と話されていました。これらの話は忘れられません。

かつて、ある学者が「災害は忘れた頃にやって来る」と仰っていましたが、東日本大震災や、今回の能登半島地震を省みると、「災害は忘れた頃にやって来るのではなく、忘れずにやって来る」と、思わざるをえませんでした。

今回の能登半島地震を受け改めて、もう一度考えること、行動すべき事を箇条書き風にまとめたものです。皆様も取り組んで



的確な避難誘導のためには、避難訓練が大事

いると思いますが、見直す一助にして下さい。尚、この原稿は、先日、青森放送ラジオのインタビュートと仙台未来防災フォーラムに参加したときのものを、文章化して加筆修正したものです。

折り紙教室の生徒との 共同作品

洞林寺婦人会 齋藤祥子

1、折り紙との出会い

小さい頃から折り紙が好きで、独学で学び続け制作に取り組んできました。モノ作りが好きで、縫物、手芸、人形制作等いろんなものを手掛けてきました。好きが昂じて、二〇〇七年一月折り紙教室を開きました。というのを、以前会報に書かせていただきました。

生徒さんを募集し教室を開いたら、二十五名の方が集まってくれました。生徒さんの人数分の材料を準備して、本格的なお雛様を折ってもらいました。二時間で完成するつもりでおりましたが、完成まで三時間かかってしまいました。教室を開いたばかりの私は先生としてはまだ未熟だったと思います。この時の私は、自分で折ることと



筆者の最新作 干支の折り紙

他人に教える事の違いをまだ分かっていませんでした。

折り紙を教え、そして作るのは楽しいことですが、其のための準備には結構苦労しています。折り紙は既製の色紙だけで作るものではありません。その作品によって、大きさの異なる紙を何種類も用意する必要があります。用意した紙を同じ大きさに必要枚数切出すのは、中々たいへんな作業です。

其の年の七月、花巻市で開催された折り紙シンポジウムに初めて参加しました。そこで素敵なお友達に出会い、其の友達からたくさんのお刺激を受け、お陰で折り紙への情熱が高まりました。それから各地で開催される折り紙シンポジウムに毎回参加し、

多くの折り紙仲間と交流し、大先生から教
えを請い、折り紙の道を邁進しております。
コロナウイルスの影響もあって少し生
徒さんの数は減りましたが、現在も若林市
民センターで月二回「仙台折り紙クラブ」
の教室を開催しております。



図書館前のパネル展示

2、若林図書館での折り紙展示

昨年の十一月、市民センターの担当者か
ら「若林図書館前の廊下にパネルがありま

すが、そのうちの二枚を折り紙で飾って欲
しい。」という依頼を受けました。日頃市
民センターにお世話になっていきますので、
お引受けさせていただきました。ディスプ
レイの構想を練り色紙や材料を準備し、生
徒さんたちに「雪の結晶」「サンタクロ
ス」「聖歌隊」の折り方を指導して折って
もらいます。とは言え、立场上私がサンタ
さんや聖歌隊の大半を折らざるを得ず、な
かなかの重労働となりました。折り紙が出
来、生徒さんたちにも集まってもらってパ
ネルに展示する作業に取り掛かりました。
完成した展示を見て、「忙しかったけど、
引き受けて良かった。」と思いました。十
一月から十二月いっぱい若林図書館に展示
され、「好評でしたよ。」と市民センターの
受付の方からお礼を言われました。其の職
員さんのお母様も御婆様も折り紙の腕が
かなりの方であり、其の市職員さんもかな
り折り紙の研鑽を積んで来られたそうで
す。そういう腕も有り見る目も有る方から
認めて貰えて、とても嬉しい経験となりま
した。

一昨日、若林市民センターから電話があ
り、「四月五月の展示をお願いします。」と
いう依頼を受けました。有難いことです
が、どういう展示にするか悩んでおりま
す。季節柄、お花を中心にした展示になり
そうです。たいへんですけど私と生徒さん
たちで製作した折り紙が皆さんの目を楽し
ませると思うと、大いに楽しみです。

「人生百年時代の生き方」

社会保険労務士 澤 田 裕 一

ご存じの方も多いかも知れませんが『L
IFE SHIF T(ライフシフト)』と
いう本があります。ロンドンビジネス
スクールの教授であるリンダ・グラットンが
二〇一六年に出版した世界的にベストセ
ラーとなりました。この本では、人生百年
時代において何が変わり、私たちはどのよ
うに準備すべきかを探求しています。

人間の寿命が延び、二〇〇七年生まれの
二人に一人が百歳を超えると予測されてい
ます。これまでは人生を単純に「学生」「仕
事」「老後」という「三つのステージ」で
人生を考えていましたが、これからの人生
百年時代においては、一つのキャリアや趣
味に縛られず、柔軟に自分の人生を変えて
いく「マルチステージ」で考えていくこと
が重要と説いています。

◎原稿募集

皆様のお便りをお待ちしております。

身近かなニュース、心境などどうぞ
お寄せ下さい。

ケンタッキーフライドチキンのカーネル
サンダースはみなさんご存じですよね。
ハーランド・デイヴィッド・サンダース
(カーネル・サンダース)は、なんと六十
五歳のときにケンタッキーフライドチキン
を起業して、世界的なファーストフード
チェーンに成長させました。カーネルサン
ダースは「老後」を単純に「余生」という
考え方ではなく、勉強や挑戦をはじめの事
で、そこから新たなキャリアが構築され、
そこからさらにスキルアップしていくとい
う事を見事に証明した、まさにライフシフ
トの体現者です。「歳をとったから無理」
という考え方がいかに無意味な事かご理解
していただければ幸いです。



L I F E S H I F T

さらに、この本では長い人生においては、
有形資産（お金や財産）だけでなく、無形
資産（健康や友人関係、変化に対応する能
力）が重要とされています。その無形資産を
高めるためには、新しい学びや挑戦、多様
な人間関係を大切にすることが大切と説い
ています。

「フォレスト・ガンブ 一期一会」という
映画をご存じでしょうか。映画の主人公、
フォレスト・ガンブは知的障害を持ちなが
らも、純粋な心で様々な出来事に巻き込ま
れていきます。彼の人生はお金や成功とは
無縁のように思えますが、彼が最も大切に
していたのは友情や愛情でした。この映画
を通じて描かれるのは、物質的な成功やお
金よりも、純粋で真摯な人間関係が人生に
おいて本当に大切なものであるというメッ
セージです。それが観客に深い感動を与え
る作品となりました。

話が変わりますが仏教では、今を大切に
生きることを「成仏」と表現するそうです。
この言葉は文字通り「仏になる」という意
味で、世の中の真理に目覚め、心が乱され
ず、智慧を活かして人々の苦しみや悩みを
解決しようとする人を指すそうです。

お釈迦さまが繰り返し説いていた教えは、



映画『フォレスト・ガンブ』

私たちがいのちを授かっているこの「現世」
で、いかに悩みや苦しみから開放され、イ
キイキと生きるかということに尽きると考
えます。つまり、「今」をイキイキと生き
るための智慧が仏教の核心です。世界的な
ベストセラーとなったライフシフトと仏教
の教えに「年齢に関係なく、何歳になつて
もイキイキと生きることが出来る」という
点において時代を超えた共通点を感じませ
んか。

孔子の有名な言葉があります。

「吾十有五にして学に志す、三十にして立
つ、四十にして惑わず、五十にして天命
を知る、六十にして耳順う、七十にして
心の欲する所に従えども、矩を踰えず。」

この言葉は、十五歳で学問を志し、三十歳で学問の基礎ができて自立でき、四十歳になり迷うことがなくなったことを表しています。そして、五十歳には天から与えられた使命を知り、六十歳で人のことばに素直に耳を傾けることができ、七十歳で思うままに生きても人の道から外れることはなくなったと述べています。

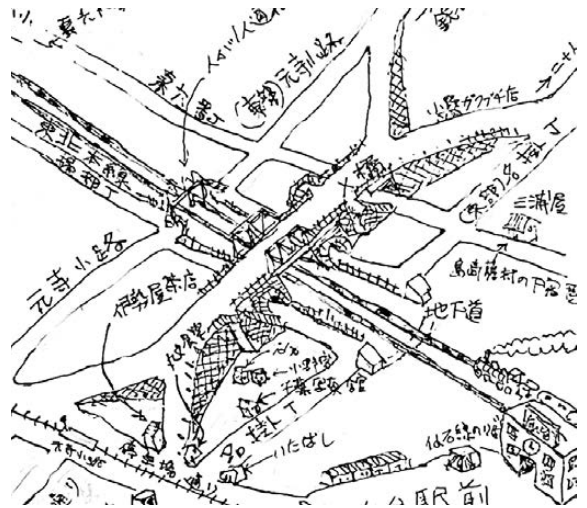
孔子は二五〇〇年前から、すでにライフシフトを先見していたようですね。そしてどうやら人生は「七十歳からが本番だぞ」と後世に向けてイキイキと生きる為の応援をしているようにも感じます。

懐かしの昭和の記憶シリーズ No.8

宮城野橋（通称 X橋）

青葉区 伊藤 眞一郎

仙台市民の馴染みの橋「X」橋は大正十一年に開通しました。仙台駅に林立していた鉄道路線と名掛丁通りの交点に名掛丁踏切がありました。当時年々鉄道貨物の取り扱いが増えるに連れて踏切の遮断時間が長くなり、開かずの踏切と化して不便な状態でした。そこで踏切が廃止され、X橋が誕生しました。



完成当時のエックス橋

戦後この一角は怪しげな赤線地帯で、西側が進駐軍相手のバーやクラブが連なり、東側は進駐軍の相手をする風俗の店が立ち並んでました。昭和三十年代に東北本線の電化が進められる中、桁下の空間が狭く東北本線の電化に支障があった宮城野橋は架け替えられることになりました。架け替え工事は一九六〇年（昭和三十五年）十二月から行われ、一九六一年（昭和三十六年）三月に竣工しました。

平成七年「アエル」の建設に伴い、橋とハピナ名掛丁を繋ぐ道が廃止され、「X橋」



拡幅前のX橋

が「Y橋」になりました。その後、二十人町鉄砲町等の仙台市の区画整理事業が進み、平成二十九年西口と東口を繋ぐ直線の主要連絡橋として近代的に生まれ変わりました。

住職が語る終活講座 其の十三

—家族葬時代の葬儀社の頼み方—

洞林寺住職

葬儀の際に遺族から「家族葬で行いたい。」と言われることが多い。この名称は曖昧であるが故に、勘違いも多い。コロナ禍の影響で、葬儀参列者が喪主と其の兄弟、時には喪主のみというケースも少なくない。少人数となっても、葬儀社が格段に安くしてくれる訳では無い。葬儀社の見積もりを鵜呑みにせず、内容を見直しリーズナブルな料金になるよう交渉することも必要です。

葬儀社も商売ですから、売上と利益を追求します。社員は社命に従って売上増の為に営業努力しています。御遺族の財政事情を考慮せず、高い見積りを勧める場合も多いのです。住職も見積りの見直しに協力します。事前に洞林寺に相談ください。

事例1、Aさん（男性） 八十歳

葬儀費用はあまりかけられないとのこと。親戚が「〇〇なお葬式」に連絡しようとするのを辞めさせ、中堅葬儀社J社に電話し、「洞林寺本堂で枕経・通夜・葬儀し

て火葬。葬儀社の立会不要なら、いくらで出来ますか？」と聞いたら、税込みで二十万円。」という返事。遺族に伝えたら「それでお願ひします。」本堂で枕経後、葬儀社と遺族と日程の打合せを行った際、遺族から遺影と生花を追加の要望。更に納棺師（当時、四万四千元）も追加依頼。

事例2、Bさん（女性） 九十三歳

互助会方式のK社に二十万円積立てていた。「K社の会館で通夜葬儀を行う」で葬儀社から提案され、見積額百万円（積立て二十万円を差引き、八十万円追加支払い）。喪主に「御遺体を洞林寺の本堂に運び、本堂で通夜葬儀を行い火葬すれば、葬儀費用は五十万〜六十万になる筈です。葬儀社の会館に遺体を運ぶのはストップしてください。」と連絡。葬儀社に再見積もりしても、六十万円の見積もり（積立分を引くと、四十万円の支払い）

事例3、Cさん（女性） 八十四歳

故人が互助会方式のL社に四十二万円の積立て。「積立の範囲で、」という喪主の要望を聞いて、葬儀社の関与は出棺・火葬まで、洞林寺本堂で寺と遺族のみで通夜葬

儀を行うことにした。葬儀費用五十五万円（積立分差引き、十三万円支払い。）

事例4、Dさん（女性） 八十九歳

富谷市の自宅で死亡。故人の娘さんから「M社に頼み、泉区の会館を勧められた。」と連絡を受ける。住職「喪主である兄から、M社の会館と家族葬型会館の両方を見積もりが欲しいと頼まれたと、葬儀社に伝えてください。」枕経後、住職と遺族で見積書を点検。会館八十万円、家族葬型会館六十万円。住職「M社さん、葬儀に参列するのは、喪主と妹さんの家族八名です。通夜出棺まではM社会館。黒川斎場で火葬して、洞林寺本堂で葬儀。通夜葬儀での葬儀社の立会不要ならいくらで出来ますか？」M社「四十五万円です。」

一旦某葬儀社の会館に御遺体を安置したが、喪主が「見積りが高い。」と言っていたので、他の葬儀社に連絡し御遺体を別の会館に移したこともあります。料金的にも内容的にも納得のゆく葬儀にするよう、努めて行きましょう。

令和5年度護持会会計決算書（案）

自 令和5年1月1日
至 令和5年12月31日

収 入

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
	円	円	円	
1. 会 費	5,385,000	5,226,000	△ 159,000	(イ)洞林寺境内墓地 287名× 15,000円 = 4,305,000円 (ロ)洞林寺葛岡墓地 10名× 15,000円 = 150,000円 (ハ)お 骨 預 か り 5名× 15,000円 = 75,000円 (ニ)他 管 理 墓 地 27名× 12,000円 = 324,000円 (ホ)他管理墓地で位牌堂使用 5名× 15,000円 = 75,000円 (ヘ)信 者 5名× 12,000円 = 60,000円 (ト)過 年 度 分 6名 = 237,000円
2. 護持会特別会費	100,000	270,000	170,000	永代供養塔申込者からの護持会費
3. 雑 収 入	2,832	14	△ 2,818	預金利子
4. 助 成 金	50,000	50,000	0	
5. 繰 入 金	200,000	0	△ 200,000	
6. 繰 越 金	462,168	462,168	0	令和4年度会計繰越金
合 計	6,200,000	6,008,182	△ 191,818	

※他管理墓地とは、葛岡・北山・泉の市民墓地および宮城霊園等、洞林寺以外が管理する墓地のことです。

支 出

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
	円	円	円	
1. 賦 課 金	750,000	727,970	△ 22,030	宗費（宗務庁） 504,770円 宗務所費、宗務所管轄基金等 183,200円 第2教区護持会 年会費 40,000円
2. 清 掃 費	1,300,000	1,269,850	△ 30,150	①境内・墓地 清掃 620,000円 ②洞林寺葛岡墓地 清掃 200,000円 ③本堂位牌堂会館 清掃・ガラス清掃 402,000円 ④他清掃費用 47,850円
3. 境内整備費	750,000	668,800	△ 81,200	境内・墓地 植木剪定
4. 施設運営費	1,200,000	1,240,000	40,000	本堂大間、庫裡客間 畳替え 800,000円 駐車場白線補修 440,000円
5. 会 議 費	100,000	54,924	△ 45,076	生花 45,430円 供物 菓子 5,202円 お茶等飲物 4,292円
6. 会報制作費	450,000	411,245	△ 38,755	護持会会報 印刷代 317,790円 会報 送料 93,455円
7. 火災保険料	200,000	186,920	△ 13,080	庫裡・会館 68,700円 火災保険料 本堂・位牌堂・不動堂 118,220円
8. 月 牌 料	700,000	700,000	0	檀信徒先祖回向
9. 教 化 費	100,000	125,374	25,374	施本（仏教すくーる） 41,606円 弔意用お線香 55,000円 新入学児童お祝い 記念品・送料 28,768円
10. 事 務 費	150,000	83,140	△ 66,860	ハガキ・郵送料等 47,776円 送金手数料 2,200円 封筒、事務用品 33,164円
11. 総持寺大遠忌寄付	0	0	0	
12. 護持会50周年記念	300,000	0	△ 300,000	護持会の周年行事は、55周年に行います。
13. 積 立 金	100,000	270,000	170,000	特別会費の積立
14. 別 途 積 立 金	0	0	0	
15. 予 備 費	100,000	0	△ 100,000	
合 計	6,200,000	5,738,223	△ 461,777	

収入額 6,008,182円 - 支出額 5,738,223円 = 繰越金 269,959円

※積立金 前年度までの特別会費分 615,000円 令和5年度特別会費分 270,000円 合計 885,000円

別途積立金 護持会50周年記念式典のための積立金 200,000円。今後更に積立て55周年記念式典を行う。

令和6年1月23日

諸帳簿並びに領収書を精査した結果、厳正に処理されていることを確認しました。

監事 吉 田 正 一 印
監事 福 島 正 孝 印

令和6年度護持会会計予算（案）

自 令和6年1月1日
至 令和6年12月31日

収 入

項 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	摘 要
	円	円	円	
1. 会 費	5,226,000	4,989,000	△ 237,000	(イ)洞林寺境内墓地 287名× 15,000円= 4,305,000円 (ロ)洞林寺葛岡墓地 10名× 15,000円= 150,000円 (ハ)お骨預かり 5名× 15,000円= 75,000円 (ニ)他管理墓地 27名× 12,000円= 324,000円 (ホ)他管理墓地で位牌堂使用 5名× 15,000円= 75,000円 (ヘ)信 者 5名× 12,000円= 60,000円
2. 護持会特別会費	270,000	100,000	△ 170,000	永代供養塔使用者から頂く護持会費
3. 雑 収 入	14	1,041	1,027	預金利子
4. 助 成 金	50,000	50,000	0	宗教法人会計（会館管轄志納金）より
5. 繰 越 金	462,168	269,959	△ 192,209	
合 計	6,008,182	5,410,000	△ 598,182	

支 出

項 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	摘 要
	円	円	円	
1. 賦 課 金	727,970	730,000	2,030	宗費（宗務庁）、宗務所費、第2教区護持会会費
2. 清 掃 費	1,269,850	1,250,000	△ 19,850	墓地・境内、清掃、本堂位牌堂・庫裡会館 清掃
3. 境 内 整 備 費	668,800	680,000	11,200	境内庭木剪定、消毒
4. 施 設 運 営 費	1,240,000	700,000	△ 540,000	駐車場 塀補修
5. 会 議 費	54,924	300,000	245,076	総会資料 彼岸法要供物、お弁当、御寺院御布施等
6. 会 報 制 作 費	411,245	400,000	△ 11,245	会報印刷代 送料等
7. 火 災 保 険 料	186,920	190,000	3,080	本堂・位牌堂・書院、庫裡会館 火災保険
8. 月 牌 料	700,000	700,000	0	檀信徒先祖供養
9. 教 化 費	125,374	100,000	△ 25,374	施本、新入学児童記念品
10. 事 務 費	83,140	80,000	△ 3,140	封筒、往復はがき、郵送料、事務用品
11. 積 立 金	270,000	100,000	△ 170,000	護持会特別会費を将来のために積立てる
12. 別 途 積 立 金	0	100,000	100,000	護持会創立55周年（令和10年）記念式典 積立
13. 予 備 費	0	80,000	80,000	
合 計	5,738,223	5,410,000	328,223	

令和五年度 活動報告

1. 1 三朝祈祷 元朝先祖参り
 - 3 檀信徒各家安祥祈願
 2. 4 護持会役員会
 2. 15 釈尊涅槃会
 3. 21 春彼岸法要
 4. 8 護持会総会 入学児童お祝い式
 6. 17 護持会役員会
 7. 30 菅谷不動尊祭典
 8. 12 盆塔祭
 9. 23 秋彼岸法要
 10. 13 洞林寺婦人会総会
 11. 23 総代会
 12. 8 釈尊成道会
 12. 31 除夜の鐘、初参り
- 中止

令和六年度 活動計画

- 一、新年御祈禱
- 一、春彼岸会、護持会総会
- 一、新入学児童お祝いの式
- 一、洞林寺菅谷不動尊祭典
- 一、盆塔祭
- 一、秋彼岸法要
- 一、除夜の鐘、初参り

令和六年度 禅をきく会御案内

四月十八日(木) 十四時三十分

講師…神奈川県 東泉寺住職

関水 俊道 老師

演題…「生きる力」となる教え

六月五日(水) 十四時三十分

講師…看護師・僧侶

玉置 妙憂 老師

演題…今よりも

少し楽になるかもしれない

生き方のご提案

八月一日(木) 十四時三十分

講師…大本山總持寺副貫主

盛田 正孝 老師

演題…瑩山禪師に学ぶ

十月十七日(木) 十四時三十分

講師…岩手県 永昌寺住職

海野 義範 老師

演題…繋がる思い 繋がる絆

十二月十七日(火) 十四時三十分

講師…曹洞宗国際禅センター

元所長 藤田 一照 老師

演題…仏教の始原「樹下の打坐」から学ぶ

令和七年二月十七日(月) 十四時三十分

講師…東北福祉大学学長

千葉 公慈 老師

演題…心を満たす仏教の智慧

～日々を楽しむために～

会場 楽楽ホール

(長町文化センター二階)

地下鉄南北線長町駅

チケット 各回五百円

☆申込・問合せ

曹洞宗東北管区教化センターまで

電話 ○二二―二一八一―一三八一

あとがき

広報幹事 澤田 裕 一

春は、卒業や入学など、別れと出会いが交錯する寂しくもあり、また嬉しくもある季節ですね。仕事柄、多くの方々の「退職」という場面に遭遇します。「退職」は第二の人生の入学式のようにも感じることが多く、実際に「退職」する方々は大きな不安を感じながら、次のステージへと歩んでいきます。

退職は第二の青春時代のようなものです。気持ちの持ち方次第で次のステージで活躍できるか否かが変わってきますので、前向きな気持ちは大切だと常々感じています。最後にサミュエル・ウルマンの「青春」という詩で会報のステージの閉幕とさせて頂きます。

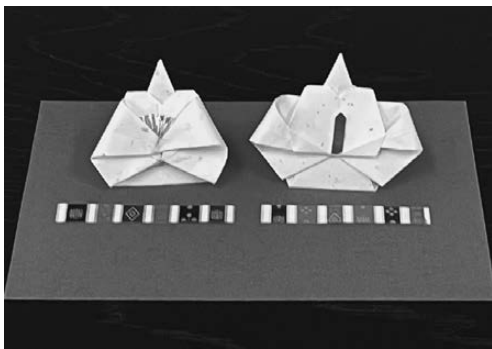
青春とは

人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。

優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、

安易を振り捨てる冒険心、

こう言う様相を青春と言うのだ。



編集

洞林寺護持会

責・佐々木(広)・佐藤(泰)・田中・澤田・伊藤

仙台市若林区新寺五丁目四―二八 TEL(256)三三〇六